

## 第 85 回耐震設計分科会 議事録 (案)

1. 開催日時 : 2024 年 9 月 25 日 (水) 9 時 35 分～10 時 38 分

2. 開催場所 : Web 会議

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

出席委員: 藤田分科会長(東京電機大学), 中村<sub>い</sub>副分科会長(東京都市大学), 野元幹事(日本原燃),  
飯島(日立 GE ニュークリア・エンジニア), 伊神(MHI NS エンジニアリング), 猪(富士電機),  
樋口(東芝エネルギーシステムズ), 今村(東京電力 HD), 岩瀬(中部電力), 岩田(電源開発),  
松田(関西電力), 高橋(北海道電力), 橋本(中国電力), 藤井(北陸電力),  
室井(日本原子力発電), 綿引(東京電力 HD), 宇賀田(大成建設), 圓(大林組),  
大橋(清水建設), 藪内(鹿島建設), 若松(竹中工務店), 白井(日本原燃),  
酒井<sub>俊</sub>(電力中央研究所), 酒井<sub>理</sub>(電力中央研究所), 中田(防災科学技術研究所),  
中山(日本原子力研究開発機構, 林委員代理), 山崎(日本原子力研究開発機構),  
糸井(東京大学), 大鳥(東京都市大学), 北山(東京都立大学), 楠原(名古屋工業大学),  
中村<sub>隆</sub>(大阪大学), 奈良林(東京工業大学), 久田(工学院大学), 古屋(東京電機大学),  
山崎<sub>晴</sub>(東京都立大学), 安部(日本原子力学会) (計 37 名)

代理出席委員: 阿部(東北電力, 熊谷委員代理), 坂本(四国電力, 西坂委員代理) (計 2 名)

欠席委員: 大熊(九州電力), 佃(産業技術総合研究所), 谷(東京海洋大学), 吉村(東京大学)  
(計 4 名)

説明者: 行徳(日立 GE ニュークリア・エンジニア) (計 1 名)

オブザーバ: 大橋(原子力規制庁) (計 1 名)

事務局: 高柳, 中山, 田邊, 原, 美濃(日本電気協会) (計 5 名)

4. 配付資料

資料No.85-1	第84回 耐震設計分科会 議事録 (案)
資料No.85-2	耐震設計分科会及び各検討会 委員名簿
資料No.85-3	ISO/FDIS 4917 Part5の投票案について
資料No.85-3-1	ISO/TC85/SC6 原子炉技術 国内対策委員会 検討報告書
資料No.85-3-2	DIS/FDIS比較表(テクニカルな修正箇所)
資料No.85-3-3	ISO/TC85/SC6 原子炉技術 国内対策委員会 検討報告書
資料No.85-3-別紙1	FINAL DRAFT International Standard ISO/FDIS 4917-5
資料No.85-3-別紙2	ISO/CD 4917-5:2022(和訳)
資料No.85-3-別紙3	ISO/TC 85/SC 6/WG 3 N 292
資料No.85-4	JEAC4601 の技術評価に係る経緯と今後の対応について
資料No.85-4-1	対応体制 案
資料No.85-4-2	効率的な進め方に関する提案

## 5. 議 事

事務局から、本分科会において、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後、藤田分科会長より開催の挨拶があり、その後議事が進められた。

### (1) 配布資料の確認，代理出席者承認，オブザーバ参加者他承認，委員定足数確認等

事務局から配付資料の確認の後、代理出席者4名の紹介があり、分科会規約第7条（委員の代理者）第1項に基づいて、分科会長の承認を得た。またオブザーバ1名の紹介があり、分科会規約第9条（分科会の開催）第3項に基づき、分科会長の承認を得た。その後本日の説明者1名の紹介があった。定足数確認時点で、委員総数43名に対し、代理出席者を含めて出席者は35名であり、会議開催条件の分科会規約第10条（会議）第1項に基づく「委員総数の2/3以上の出席(29名以上)」を満たしていることを確認した。

### (2) 前回議事録（案）の確認（審議）

事務局から資料No.85-1に基づき、前回議事録（案）の紹介があり、正式議事録とすることについて、分科会規約第12条（決議）第4項に基づき挙手及びWebの挙手機能により決議の結果、出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

### (3) 分科会委員の変更の紹介及び検討会委員変更の承認

#### 1) 分科会委員の変更について

事務局から資料No.85-2に基づき、下記分科会委員の変更について紹介があった。新委員候補については、分科会規約6条（委員の選任・退任・解任及び任期）第1項に基づき、次回の原子力規格委員会で承認の予定である。

- ・退任予定 岩森 委員（関西電力）
- ・新委員候補 松田 氏（同左）
- ・退任予定 林 委員（日本原子力研究開発機構）
- ・新委員候補 中山 氏（同左）

#### 2) 検討会委員変更の承認

事務局から資料No.85-2に基づき、下記検討会委員の変更について紹介があり、新委員候補について、分科会規約第13条（検討会）第4項に基づき、検討会委員として承認するかについて分科会規約第12条（決議）第4項に基づき、挙手及びWebの挙手機能により決議の結果、出席委員の5分の4以上の賛成により承認された。

##### 【総括検討会】

- ・退任予定 久保 委員（東京大学）
- ・退任予定 岩森 委員（関西電力）
- ・退任予定 清水 委員（大林組）
- ・新委員候補 松田 氏（同左）
- ・新委員候補 諸菱 氏（同左）

##### 【地震・地震動検討会】

- ・退任予定 石川 委員（東北電力）
- ・退任予定 花村 委員（清水建設）
- ・新委員候補 荒井 氏（同左）
- ・新委員候補 新井 氏（同左）

【土木・構造物検討会】

- ・退任予定 岩森 委員（関西電力）
- ・新委員候補 松田 氏（同左）

【建物・構築物検討会】

- ・退任予定 久保 委員（東京大学）
- ・退任予定 日根 委員（四国電力）
- ・退任予定 清水 委員（大林組）
- ・退任予定 大橋 委員（清水建設）
- ・退任予定 伊神 委員（三菱重工業）
- ・新委員候補 坂本 氏（同左）
- ・新委員候補 諸菱 氏（同左）
- ・新委員候補 森 氏（同左）
- ・新委員候補 野坂 氏（同左）

【火山検討会】

- ・退任予定 谷口 委員（東京電力 HD）
- ・退任予定 沼田 委員（関西電力）
- ・退任予定 山下 委員（九州電力）
- ・新委員候補 杉田 氏（同左）
- ・新委員候補 下村 氏（同左）
- ・新委員候補 熊谷 氏（同左）

【津波検討会】

- ・退任予定 香川 委員（関西電力）
- ・退任予定 吉田 委員（大林組）
- ・新委員候補 鈴木 氏（同左）
- ・新委員候補 川島 氏（同左）

(4) ISO 耐震規格案 Part5 の投票案について（審議）

野元幹事より、資料 No.85-3 から資料 No.85-3-別添 3 に基づいて、ISO 耐震規格案 Part5 の投票案としてコメントなし賛成とすることについて説明がなされた。分科会規約第 12 条（決議）第 4 項に基づき挙手及び Web の挙手機能により決議の結果、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成により承認された。

○主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ISO の国内の対応委員会に対する Q&A と思うが、ISO の基準作りに日本人は入っているのか。
- ISO の執筆作業に関しては日本のメンバーは関わっていないが、技術的な検討には前副分科会幹事の山崎様が参加されご尽力いただいている。またこの審議自体は、国内の委員会から、日本の産業活動に不利益がないかということについて審議してほしいとの依頼を受けて実施しているものである。
- 日本は地震大国なので、なるべくこのような国際基準に日本の最新知見を織り込んでいくべきなので、日本の技術者が積極的に参加していくことが大事だと考え質問したもの。
- 元東京電力の長澤様より IAEA の SMR 関係の耐震の規格を作るということで支援要請が入っており、こういった日本の進んだ耐震の規格を SMR（小型炉）の事業に反映できるということで、こういう IAEA に対するコントリビューションに対して賛成する。

○事務局より、本日付で資料 No.85-3-3 の投票案にて回答を送付する旨を連絡した。

（会議終了後、同日中に本内容で回答済み）

(5) JEAC4601 の技術評価に関わる経緯と今後の予定について(審議)

野元幹事より、資料 No.85-4 から資料 No.85-4-2 に基づいて JEAC4601 の技術評価に関わる経緯と今後の進め方に対する提案について説明を行い、分科会規約第 12 条(決議)第 4 項に基づき挙手及び Web の挙手機能により決議の結果、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成により承認された。

○主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・本件に関しては、これまで原子力規制庁と調整が進められており、スムーズに進行できればと考えている。

○事務局より、技術評価に関係するコアメンバーの方に対して、協会の方からお願い文を別途発送する旨を連絡した。

(6) その他

- ・現在、日本原子力学会で断層の変位に対する安全系設備の工学的な影響について取りまとめている規格が作成されており、日本電気協会においても、エンジニアとして自然現象が設計の範囲を超えた事象について認識しておく必要があるのではないかという観点から、これを活用していくよう提案があった。  
→電気協会で扱っていくにあたっては知識基盤を含めて整備しておくことから始めることが大切であり、まずは勉強会のようなものを企画できないか 3 役で相談することとした。
- ・次回耐震設計分科会開催については、別途調整して連絡する。

以 上